



# がっこう 学校だより

へいせい ねん がつ にち  
平成30年9月29日

がっこう  
10月号

よこはましりつかみいだしやうがっこう  
横浜市立上飯田小学校

## たが みと あ かみしやう お互いを認め合う上小ハーモニー

がっこうちやう くらかた おさむ  
学校長 倉方 治

### かみしやう しやうかい 上小ハーモニー集会

がつ にち もく かみいだしやう しやうかい ひら 29日(木)に上飯田ハーモニー集会を開きました。29日の上飯田ハーモニーでは、ちいきほごしや みなさまにそれぞれの学年が次々と入場して合唱や合奏を見ていただくので、他学年の演奏の様子は、子どもたち同士では見られません。そこでリハーサルを兼ねて、体育館で、1年生から6年生のまでの合唱や合奏の様子を見合いました。

かみいだしやう うんどうかい どうやう おお ぎやうじ  
上飯田小のハーモニーは、運動会、ワールドと同様に大きな行事だと私は思っています。夏休み後に子どもたちは、少しずつ練習を重ね、9月の半ばごろには体育館での練習に入り、自分たちの声や楽器の音色を合わせていきます。それぞれの学年の発達段階に応じた一つの音作りに励み合う姿は、とてもすばらしいものです。子どもたちは日に日に上手になっていき、やる気を膨らませていきます。体育館から漏れ聞こえる合唱や合奏の音色の変化が聞こえる度に、私はうれしくなると同時に成長する姿を感じます。

ハーモニー集会では、低学年の子ども達が舞台に立つとペア学年の子ども達はもちろん他の高学年の子ども達が笑顔で見守り、終わった後、大きな拍手を送ります。低学年の子ども達は嬉しそうに自分たちの場所に戻ります。高学年の子ども達が舞台に立って合唱や合奏をすると低学年は憧れの眼差しで聴き入って、終わると同時に高学年に負けないくらい大きな拍手をします。

他学年はより上手に演奏しようと頑張りますが、一つ上の学年の演奏を聴くと違いを感じるようで、自分たちはさらに頑張らなければならないと思うようです。個々の子ども達一人ひとり、舞台上に立った時にきくとドキドキしていたことだろうと思います。でも合唱や合奏が終わった後は、子ども達は安堵感と充実感でいっぱいになっています。この光景はそれまでの練習での頑張りが、声や音をひとつにする良さを感じ、励まし合いながら学年全体がまとまっていく姿の表れだとも思っています。他学年の合唱や合奏を聴くことにより、より高いレベルがあり、高学年への尊敬やあこがれをもつとともに高学年は自分たちがお兄さん、お姉さんなのだという意識を高めていくのだと思います。このお互いの良さを認め合う上飯田小のハーモニーは、上飯田ワールドとともに本校の教育目標を具現化したすばらしい活動だと自負しています。

ほんこう きやういくもくひやう がつ かいいだしやう かつどう ちいき ほごしや みなさま おお  
本校の教育目標「C・D・I」がいっぱい詰まった上飯田小ハーモニーの活動は、地域や保護者の皆様の大きな拍手によって、子ども達にとって成就感や大きな自信につながります。多くの皆様にいらしていただき、ぜひ上小キッズの姿をご覧くださいと思います。

「まちに光る上小キッズ」をめざして、これからも子ども達の活動を地域、保護者の皆様と一緒に見守って、職員が一丸となって指導していきます。今後ともご支援、ご協力のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。



かみしやう しやうかい ねんせい がつしやう  
上小ハーモニー集会での6年生の合唱